

小学生バレーボール大会審判上の注意事項

1 トスについて

- (1) トスは記録席の前で試合開始11分前に行う。トスにはチームキャプテンが立ち会い、キャプテンマークのついたユニフォームを着用していること。
- (2) ト스에勝ったチームは次の選択をする。
 - ア サービスを打つか、サービスをレシーブする権利。
 - イ どちらのコートに入るか。トスに負けたチームは、残された選択をする。

2 公式練習は試合開始10分前より、両チーム合同で行う場合は6分間とし、単独で行う場合は3分間とする。

3 サービスは、セットの始めにチームごとに決められた順序に従って打つ。間違いのないよう、ベンチスタッフも十分注意すること。

4 監督は、試合を妨害しない限り、自チームアタックラインの延長戦からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内において、立ちながらでも歩きながらでも選手に指示を出すことができる。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。

5 片方の足（両足）または片方の手（両手）がセンターラインを越えて相手コートに触れても、侵入している片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンターラインに接しているか、その真上に残っていれば許される。他のいかなる身体の部分も、相手コートに触れることは許されない。

6 競技者が負傷して例外的な選手交代をした場合、負傷した競技者は、その試合に復帰することはできない。

7 試合中、コート内の選手は、床の汗を自分たちで拭き取ること。チームでワイピング用のタオルを数多く用意していくこと。

8 試合開始前、タイムアウト、セット間は、チームでモップを掛ける。その場合、フロントゾーンから拭き始めること。選手が少ない場合はベンチスタッフはモップを掛けてもいい。また、テクニカルタイムアウトは、戦術的な指示をするタイムアウトではない。ベンチスタッフは、健康観察を目的に選手の近くに行き、話をすることはできるが、作戦上の指示は出せない。テクニカルタイムアウト間は、選手は、モップをかけることができない。

9 汗によるボール及びユニフォームの交換（セット間）は、そのつど審判に申し出ること。

10 試合の継続が危険な状況であるとレフェリーが判断した場合は、ラリーをノーカウントとする。

11 混合の部においては、構成メンバー表において男子の横にレ点を付けるなど不法な選手交代が発生しないように留意する。

12 ペットボトルは不可だが、スクイズボトルや吸引式のボトルでなくてもワンタッチ式の蓋付き水筒であれば問題ない。ベンチスタッフも同様。